



東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立の日本で最も古い歴史と伝統を誇るオーケストラ。「定期演奏会」をはじめクラシック音楽を広く普及させる自主公演の他、新国立劇場でのオペラ・バレエ演奏、NHK『ニューイヤー・オペラコンサート』『FMシンフォニーコンサート』『名曲アルバム』や2012年大河ドラマ『平清盛』の劇中音楽、さらにゲーム音楽『逆転裁判 特別法廷』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』など幅広い演奏活動により全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。2003年にはコピスみよし開館1周年記念として、ドヴォルザーク「新世界より」他の演奏が行われた。

第1回ロビーコンサートの様子

6月6日(木)、役場庁舎1階ロビーで行われた第1回ロビーコンサート。東京フィルゲストコンサートマスターの前田尚徳さん、東京フィル首席ヴィオラ奏者の須田祥子さん、東京フィル首席チェロ奏者の渡邊辰紀さん、第81回日本音楽コンクール第1位優勝者の会田莉凡さんといった豪華なメンバーが集まり演奏されました。



6月30日にイムス三芳総合病院内で行われたロビーコンサートに出演した東京フィルソロコンサート・マスターの荒井英治さん。

生演奏を大ホールでは味わえない目の前で本物の音楽を体験できたことで、音楽の素晴らしさに触れ、「もっと音楽に触れてみたい」という気持ちになることができるかもしれません。

そうした音楽と出会う「きっかけ」を町では積極的に行っています。その一環としてロビーコンサートがあり、音楽の魅力を住民の皆さんにお届けしています。散歩の途中に、ふらっと立ち寄った場所で、一流の音楽と触れ合うことができる……。こんな素敵な町になるように、今後も上質な音楽をお届けしていきます。

本物の音楽を皆さんへ届けたい

音楽をより身近なものに

一流の音楽を目の前で楽しむことができるロビーコンサート。音楽をより身近に感じてもらうため、様々な工夫をしながら楽しい企画を提供しています。

超

一流の演奏に気軽に触れあうことができる……。

今年6月6日に三芳町役場庁舎1階で、6月30日にイムス三芳総合病院で、「ロビーコンサート」が行われました。このロビーコンサートの出演者はテレビ「題名のない音楽会」や、ゲーム「逆転裁判 特別法廷」の演奏を行うなど有名な「東京フィルハーモニー交響楽団」のメンバーを中心としています。

普段は東京芸術劇場など大ホールで演奏を行っている皆さんが、なぜ役場1階のロビーや、病院のロビーで演奏をするのか。私たちが生活しているなかで、オーケストラやバイオリンの演奏を聴きに行くと考えた時、少し敷居が高いと思いませんか。しかも、一流の演奏を聴くとすると、遠方まで出向き、チケット代を払うなど、躊躇してしまい、音楽と触れ合う機会を逃してしまっている場合があるのではないのでしょうか。

では、身近な場所で無料で行われるとしたらどうでしょう。しかもその演奏を一流の奏者が行うとしたら、「ちょっと時間があるから聴いてみよう」と思いませんか。